

木下大サーカス

3月10日まで 鹿児島市のドルフィンポート跡地特設会場

地域に溶け込み公演

鹿児島市のドルフィンポ
ト跡地特設会場で開催中
の「木下大サーカス」。連日展
開される息つく間もない一大
スケタルは、訪れた観客
の度肝を抜く。鍛え抜かれた
肉体から繰り出される技の数
々は日々の鍛錬から生み出さ
れる。公演期間中、団員たち
は特設会場内で生活する。地
域に根ざした暮らしをのぞ
かせるもったい。

公演後のテント内は、練習
に汗を流す団員たちの熱気に
包まれていた。子どもから大
人まで15人ほどが、ステジ
で前転やバック転など基礎運
動に打ち込んでいる。器械体
操経験者の今村翔さん(31)ら
が指導。技術レベルを上げ、

けがをすることがないように取
り組んでいる」

午後3時半すぎ、同市名山
小学校に通う3年生のロマン
さんと2年生のアポストルさ
んが帰ってきた。ロマンさん
は「学校は楽しい。友だちも
たくさんきて一緒にドッジ
ボールをしている。科目では
国語が好き。お父さんのよう
なジャグラーになりたい」と
笑顔をみせた。1カ月の興行
はだいたい3カ月間、子ども
たちは行く先々で学校や保育
園などに通い、地域にとけ込
みながら勉強や遊びに励む。

一方、大人の団員らも日々
の買い物や飲食、近所の温泉
などで交流する。行く先々で
地域住民らとの笑顔の輪が広

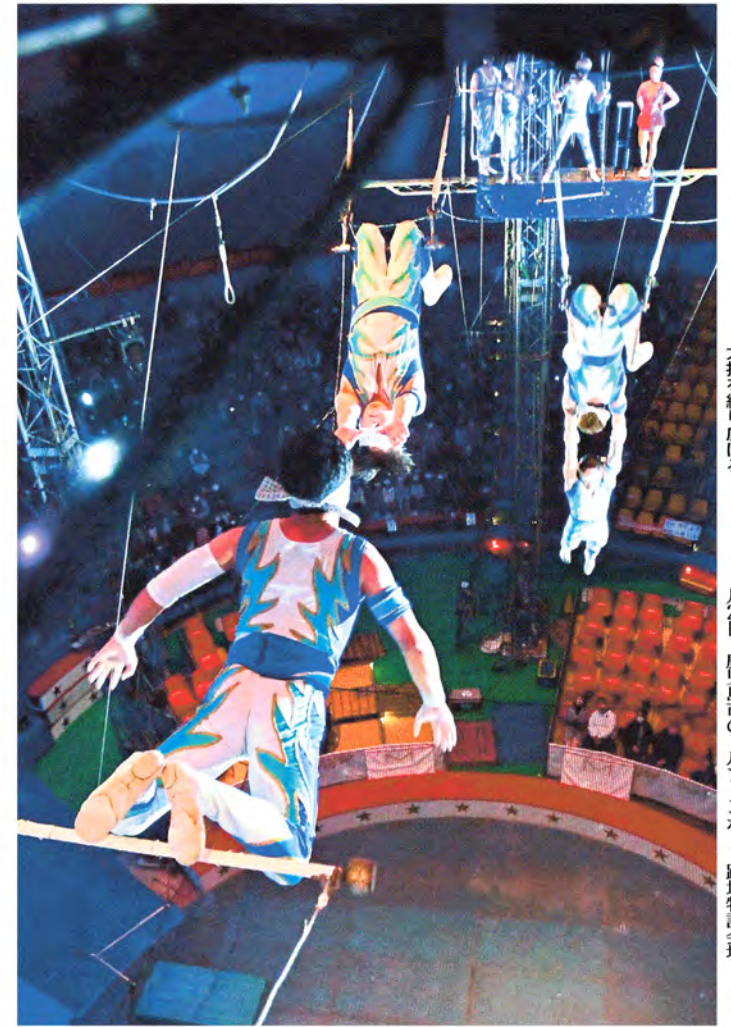
(税所陸郎)



先輩の指導で3班に分かれ基礎練
習に打ち込む団員 11月17日



愛情をもってポニーの世話をする調教師の
マイケル・ハウスさん(手前)ら=1月20日



クライマックスのダブル空中ブランコショー。目隠したまま飛ぶなどスリリングな
大技を繰り広げる 11月21日、鹿児島市のドルフィンポート跡地特設会場



フィナーレを飾る舞台を上から臨むと、色鮮やかで幻想的な光景が広がっていた
=1月21日、鹿児島市のドルフィンポート跡地特設会場



名山小学校から会場内の家に
帰るロマンさん(手前左)とア
ポストルさん =1月20日



店人と交流しながら食材の買
い物をする団員ら11月20日、
鹿児島市西石町の城山ストア
1フレッセ高見馬場店



声をかける入浴客と笑顔でふ
れ合う団員たち11月18日、
鹿児島市のかこしま温泉

このシリーズは今回で終了します。